

## 研究計画書審査基準、論文審査基準及び最終試験基準

### 研究計画書審査基準

研究の具体的な方法、内容の研究計画についての「研究計画書」を、指導教員の指導のもとに作成し、2名の審査委員が審査を行う。研究指導計画は必要に応じて柔軟に見直しを行う。

### 評価項目

1. 研究領域における研究背景の理解  
先行研究や関連研究に関する文献・情報の収集が十分行われている。  
研究課題における問題設定が明確に提示されている。
2. 研究課題の新規性および社会的有用性  
研究課題が新規性、独創性、社会的有用性を有している。
3. 適切な研究方法の設定  
研究目的を遂行するために適切な研究方法（実験方法、調査方法、解析方法など）が採用されている。
4. 研究スケジュールの実行可能性  
研究の諸条件もしくは予備調査結果等 などからみて、研究期間内に十分に遂行できるスケジュールが立てられている。
5. 研究倫理の配慮  
研究対象者やデータの取り扱いなどに倫理的配慮が明文化されている。

### 論文審査基準

#### 審査体制

学位論文の審査は、主査1名と副査2名の合議で行う。

### 評価項目

1. 研究領域における研究背景の理解  
先行研究や関連研究に関する文献・情報の収集が十分行われている。  
研究課題における問題設定が明確に提示されている。
2. 研究課題の新規性および社会的有用性

研究課題が新規性、独創性、社会的有用性を有している。

3. 適切な研究方法の設定

研究目的を遂行するために適切な研究方法（実験方法、調査方法、解析方法など）が採用されている。

4. 適切な研究結果の提示

研究目的を達成するための必要なデータが十分に収集できている。

データを適切に分析できている。

結果を適切な表、グラフなどで提示できている。

5. 研究結果に基づいた考察

結果の解釈が客観的になされている。

6. 一貫した論理構成

研究課題に対する論理展開に整合性が認められる。

得られた結果と必要十分な文献にもとづいた深い考察ができている。

7. 整えられた体裁

論文が既定の様式に沿っている。

参考文献の引用が適切になされている。

8. 研究倫理の遵守

研究倫理審査委員会で承認されており、研究対象者やデータの取り扱いなどに十分な倫理的配慮がなされている。

9. その他

査読付きの学術誌に掲載されるレベルにある。

#### 学位論文審査委員の構成及び選定方法

審査委員会は、教授または准教授 2 人以上を含む研究科の教員をもって組織し、主査 1 名及び 副査 2 名をおく。ただし、少なくとも教授 1 人を含めなければならない。研究科教授会において審査のため必要があると認めるときは、調査委員を委託することができる。審査委員の選定及び調査委員の委託は、学位論文提出者の所属する領域から推薦のあった審査委員及び調査委員候補者について、研究科教授会が行う。

## 最終試験基準

### 審査体制

最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、修士論文を提出した者につき、当該修士論文を中心とした学位審査研究発表会における発表と質疑応答、さらに非公開の審査委員会による口頭又は筆答による試験により判定する。

### 評価項目

1. 修士論文に関連する専門的知識と豊かな見識、倫理観を身につけていることが認められること。
2. 発表用資料が適切に提示されており、質疑に対して誠実な応答が認められること。
3. 修士論文の研究内容を学術誌に公表または公表を予定していることが認められること。
4. 独創的なりハビリテーション研究を企画し、推進する能力が認められること。
5. 審査委員会による口頭又は筆答による試験に合格すること。